

新人歯科衛生士交流会 | 特別講演

高齢者に関わる現場とは—そこは歯科衛生士の魅力を発揮できる場所—

座長:石黒 幸枝(米原市地域包括医療福祉センター「ふくしあ」)

Sat. Jun 23, 2018 4:00 PM - 4:30 PM 第2会場 (1F 小ホール)

【略歴】

滋賀県立総合保健専門学校歯科衛生学科卒業後歯科診療所勤務・長浜市健康推進課臨時職員・高齢者介護施設非常勤数カ所を経て、

2015年 湖東歯科医師会在宅歯科医療連携室

2015年 浅井東診療所デイケアくさの川

2016年 米原市地域包括医療福祉センター「ふくしあ」

2018年 社会福祉法人ひだまり (すべて非常勤)

日本老年歯科医学会理事

日本歯科衛生士会認定歯科衛生士・理事

その他の所属学会：日本摂食嚥下リハビリテーション学会

【抄録】

歯科衛生士は、乳幼児から高齢者まで、さまざまなライフステージの方と関わります。超高齢社会を迎えた今、歯科診療所をはじめ医療受診される患者層も高齢化となっています。歯科専門職として高齢者とのように関わり、やりがいをもって日々の業務を進めていくにはどうしたらいいか、誰かに聞きたいけれどそんな機会は意外と少ないかもしれません。今回、多職種と連携をとりながら、地域の特性をいかした活動を展開されている丸岡歯科衛生士からお話しいたします。

業務を続けていくなかで、自分に求められる役割に迷い、何をすべきか自信を失うこともあるでしょう。歯科衛生業務を見直すことで、あるいは歯科衛生研究に取り組むことで、改めてその重要性や魅力に気づきます。これから高齢者に関わる現場に向かうために、学生から若手、中堅・ベテランまで、多くの歯科衛生士の交流の場になることを期待します。

[DHM1-1]地域包括ケアにスーパーハイジニストはいらない！

○丸岡 三紗¹ (1. まんのう町国民健康保険造田歯科診療所)

【略歴】

2013年 四国学院大学専門学校歯科衛生科卒業

三豊総合病院企業団歯科保健センター勤務

2015年 まんのう町国民健康保険造田歯科診療所勤務 現在に至る

2017年 徳島大学大学院総合科学教育部地域科学専攻地域創生分野在学中 (田口研究室/地域計画学研究室所属)

香川県歯科医療専門学校衛生士科非常勤講師

所属学会：日本歯科衛生士会、日本老年歯科医学会 (認定歯科衛生士)、日本口腔衛生学会、日本プライマリ・ケア連合学会、農村計画学会

「歯磨きおばさんにはなりたくない！」口腔ケアが特別なものでない時代。毎日同じことの繰り返し。自分の価値がわからなくなり、嚥下など特別な知識を持つスーパーハイジニストに憧れていた。しかし高齢者の生活に触れ、歯科は人の生きがいを支える凄い仕事だと気付かされた。彼らの望む暮らしを実現するにはチームプレーが必要で、できないことは他職種に任せようがよいということも。

近年、国は公衆衛生のエビデンスに基づき介護予防の方向性を大きく転換した。重視すべきは機能訓練や健康教育よりも、住民互助や異業種連携などによる、高齢者が生きがいや役割を持てる社会環境づくり。普段から健康な人々と関わるわれわれこそが、地域包括ケアを新たな時代へ牽引していかねばならない。

地域も人も理屈で動かない。よい研究は現場の感覚を軽視しない。すべての住民の幸せのためにできることを

皆で考えたい。

私たち若い歯科衛生士ので素晴らしい社会を築いていきましょう。